

令和3年度 西蒲区組織目標

組織名	西蒲区	区長	西蒲区長 鈴木 浩行
組織の目的・方向性	<p>I 広大な農地を活用した食・農業の高付加価値化と農業経営の安定化の推進 市内の25%強の広大な経営耕地面積を有し、多種多様な農業の営みを背景に育まれた本区の豊かな「食・農業」の安心安全な農産物の高付加価値化と農業経営の効率化・安定化を進めて「もうかる農業」を目指します。 また、変革期を迎えた米政策を考慮し、人・農地プランの話合いのもと、地域の中心経営体強化と農業経営安定化に向けた土台づくりを進め、持続可能な農業の確立を目指します。</p> <p>II 新型コロナウイルス感染拡大の影響を受けた観光産業の需要回復に向けた支援とマイクロツーリズムを軸とした誘客促進 未だ新型コロナウイルス感染症の収束が見込めない状況において、区の基幹産業である観光業への影響が今なお続き、地域全体の産業に波及しています。引き続き観光業等の事業継続及び雇用の維持ができるよう、感染状況を見据えながら効果的な支援策を講じます。また、収束時期を捉えながらマイクロツーリズムを軸とした誘客促進事業について地域事業者と協同で取り組み、失われた観光需要の回復を図ります。</p> <p>III 市民との協働、地域と連携による安心・安全で住んで良かったまちづくりの推進 区民との協働や地域との連携を図りながら身近な地域づくりや将来のまちづくりについて地域が一体となって地域課題解決に努めるとともに、災害に強く安心安全で区民が住んで良かったと言えるまちづくりを進めます。また、人口減少対策に取り組みながら乳幼児からお年寄りまで、障がいのある人もない人も誰もが住み慣れた地域で安心して暮らせるよう、地域で支えあう仕組みづくりを目指し、地域包括ケアシステムの構築を進めるとともに、自分の健康は自分で守ることを目的に健康管理に対する意識の醸成を図り健康寿命の延伸につなげる健康づくりを推進します。</p>		

西蒲区組織目標

<p>I 広大な農地を活用した食・農業の高付加価値化と農業経営の安定化の推進 農業の担い手にとって安定した農業経営の実現を目指し、園芸作物の新たな産地化に向けて立ち上げた「にしかん なないろ野菜」のブランド化を図るため、販路拡大や通年安定供給に取り組みます。 また、農業者の高齢化に伴い農家が急速に減少している一方、担い手も農地の引き受けが出来なくなりつつあるため、地域の担い手対策として農地集積の取り組みを積極的に支援します。</p> <p>II 新型コロナウイルス感染拡大の影響を受けた観光産業の需要回復に向けた支援とマイクロツーリズムを軸とした誘客促進 未だ影響を受けている観光業等について、効果的な事業継続のための支援を実施す</p>
--

るとともに、感染の収束を見極めつつ、マイクロツーリズムを軸とした観光需要喚起を行います。

収束期を見据え、二次交通（新潟ウエストコーストライナー）・三次交通（にしかん観光周遊ぐる〜んバス）の本格運行に向けた運行・整備を進めるとともに関西・中京・首都圏に加え県内及び近県への観光プロモーションや旅行エージェントへのセールス等を積極的に実施し、失われた観光需要の回復を図ります。

Ⅲ 市民との協働、地域と連携による安心・安全で住んで良かったまちづくりの推進

- (1) 地域、防災士、専門家等と連携しながら、地域防災の担い手となる中学生の防災教育を支援するとともに継続していく体制を整備し、地域全体で自助、共助の意識を高めていきます。
- (2) 支え合いの仕組みづくり推進員と連携して地域の茶の間や住民主体の支援サービスを創出するとともに、高齢者見守り事業を実施します。
- (3) 健康教育、健康相談、イベントをはじめ、地区組織と連携し健康づくりの普及を図り、生活習慣の改善に向けた取り組みを根付かせて、健康寿命の延伸に取り組みます。

この方針のもと、今年度は、次の5つの目標に重点的に取り組みます。

重点目標

- 1 「にしかん なないろ野菜」の通年安定供給の推進、農地の集積及び集約化率が低い地域への積極的な支援
【指標：ブランド化に向けた安定供給品種の月別品種件数、農地集積率】
- 2 新型コロナウイルス感染拡大の影響から観光需要の回復を目指し、新潟空港からの二次交通「新潟ウエストコーストライナー」の運行拡充と観光周遊バスの試験運行を軸に関西圏や近県等への誘客プロモーション・セールスを実施
【指標：観光周遊バス利用者数・エージェントセールス実施回数】
- 3 にしかん地域防災共育事業の推進
【指標：にしかん地域防災共育事業の実施校数】
- 4 日常生活圏域における課題解決のための「地域の茶の間」などのサービス創出を支援、高齢者見守り事業を実施
【指標：サービス事業数】
- 5 健康教育等の生活習慣の改善に向けた行動変容のための支援
【指標：生活習慣病予防の健康教室参加者、ウォーキング記録参加者数】

※重点目標における指標や取組状況は、各課組織目標をご覧ください。

評価

	重点目標の達成状況	目標数	5	達成数	3
取組結果	1 「にしかん なないろ野菜」の通年安定供給の推進、農地の集積及び集約化率が低い地域への積極的な支援 【指標：ブランド化に向けた安定供給品種の月別品種件数、農地集積率】 《ブランド化に向けた安定供給品種の月別品種件数》 目標：18 品種以上 実績：25 品種 《農地集積率》 目標：80% 実績：80.4%				
	2 新型コロナウイルス感染拡大の影響から観光需要の回復を目指し、新潟空港からの二次交通「新潟ウエストコーストライナー」の運行拡充と観光周遊バスの試験運行を軸に関西圏や近県等への誘客プロモーション・セールスを実施				

	<p>【指標：観光周遊バス利用者数・エージェントセールス実施回数】</p> <p>《ウエストコーストライナー利用者》 目標：180人 実績：185人</p> <p>《にしかん観光周遊バス利用者》 目標：3,920人 実績：2,032人</p> <p>《プロモーションイベント実施回数》 目標：2回 実績：10回</p> <p>《エージェントセールス実施回数》 目標：5回 実績：10回</p> <p>3 にしかん地域防災共育事業の推進 【指標：にしかん地域防災共育事業の実施校数】 目標：2校 実績：2校</p> <p>4 日常生活圏域における課題解決のための「地域の茶の間」などのサービス創出を支援、高齢者見守り事業を実施 【指標：サービス事業数】 目標：2件 実績：0件（※月1回のサロン新規設立3件）</p> <p>5 健康教育等の生活習慣の改善に向けた行動変容のための支援 【指標：生活習慣病予防の健康教室参加者、ウォーキング記録参加者数】 目標：3,900人 実績：3,625人</p>
<p style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">今後の方向性</p>	<p>1 米に並ぶ高収益作物の導入を推進していく中で、「にしかん なないろ野菜」の更なるブランド化を進めるため、野菜の配送費を補助するなどして飲食業者との取引につなげ、販路拡大し産地としての地盤を強固なものとしていきます。農業者の高齢化および米価下落等で農業の低迷が続いている中で、離農による遊休農地化を防ぐため、農地保全活動の促進、担い手への農地の集積、集約を推進していきます。</p> <p>2 未だ影響を受けている観光業等について、効果的な事業継続のための支援を引き続き実施するとともに、個人旅行者や小グループをターゲットに誘客を行い、コト消費を楽しめる西蒲区の魅力を、統一したブランディングで発信し誘客につなげます。 二次交通（新潟ウエストコーストライナー）は佐渡汽船からの新路線と既存路線の増便により、関西・中京・首都圏に加え、佐渡からの誘客、観光プロモーションや旅行エージェントセールス等積極的に実施し、ウィズコロナに対応した観光需要の回復を図ります。</p> <p>3 安全で災害に強いまちづくりを進めるため、地域防災の担い手となる中学生の防災教育を支援し、自助・共助による地域防災力の向上を図ります。</p> <p>4 地域包括ケアを推進するため、支え合いの仕組みづくり推進員等と連携しながら、地域の茶の間をはじめとした住民主体の共助の仕組みづくりを継続して支援していきます。</p> <p>5 健康寿命の延伸を図るため、新型コロナウイルス対策を行いながら、健康教育等を実施し、生活習慣の改善に向けた行動変容について継続して周知啓発していきます。</p>

